

4月30日
 県民の森と松川深谷を
 歩いてみたよ!

岩手山 (2038M)
 ↓

黒倉山 (1,570M)
 ↓



▲ 県民の森「みんなの広場」からの岩手山。
 手前に並ぶのは、春を告げるコブシのお花。

▼ キワザキイチゲ。色の変化に富み、
 白いものから空色、紫と様々です。



生まれた時からここに住んでるけど、冬がどうも苦手な基世さん。まだときどき小雪が舞い降りてくる4月30日。耳が冷たいけど、春の気配を探さずにはいられず、仕事をさぼってお花に会いにきました。(内緒だよ!)

あー...
 ▼ 今年も会えたね、カタクリさん ♡

可憐で儚い
春の妖精 たち

カタクリやキワザキイチゲなど、早春に花を咲かせ、夏には葉を枯らして地下に潜ってしまう植物のことを

スプリング ^{エフェメラル}
Spring Ephemeral!

「春の妖精」といいます。ほんとに魔法みたいな一瞬の美しさです。



げんがいわ
ホテルから玄武岩まで

ホテル → 5分 県民の森 → 20分 森の大橋

10分 → 玄武岩

★のんびり歩いて往復1時間30分くらい



県民の森

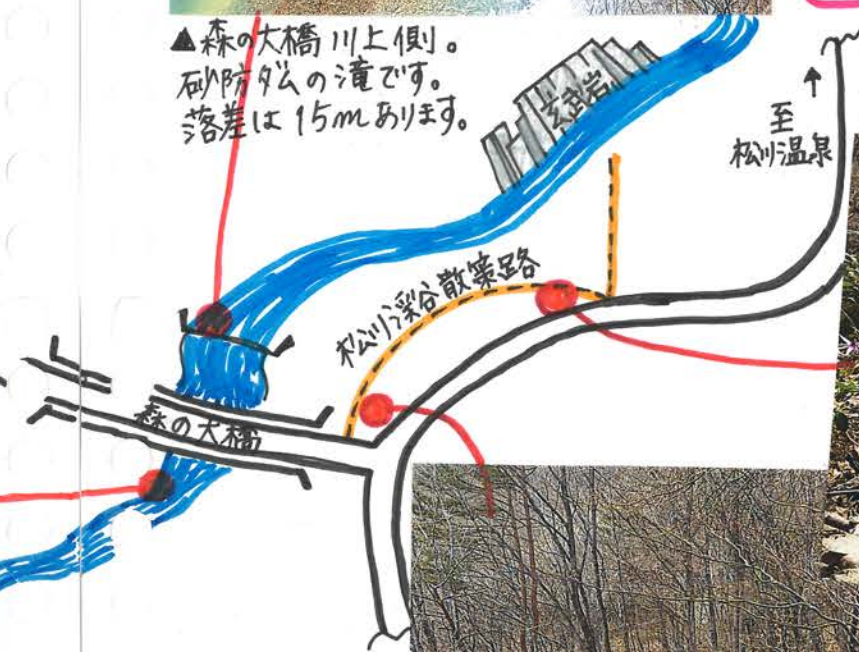
散策路がいろいろ!!
自由にお散歩できます。



▲森の大橋 川下方面。秋には木々が錦に色づく紅葉の名所です。



▲森の大橋 川上側。砂防ダムの滝です。落差は15mあります。



松川渓谷散策路。森の大橋から玄武岩までは400mくらい。



山の中にえびららい? りすさんの仕業でした。

ナツアカマツの松ぼっくりのうろこ?を1枚ずつはがして中に入っている松の実を食べると...えびららい完成!!
いっぱいあるよ!探してみてね!

こっから松ぼっくりの先端。



よく見ると色の濃いもの、薄いもの、花の中心が白いのetc... 1個性があります。



えんれいそう
延齡草の仲間たち

キクザキイチゲやカタクリと競走するように咲き始めるエンレイソウ。漢字の延齡は「寿命を延ばす」という意味で、漢方では胃腸薬として使われます。でも素人が使うと毒ですので、寿命縮みます。

▼春一番に咲き始めるエンレイソウ

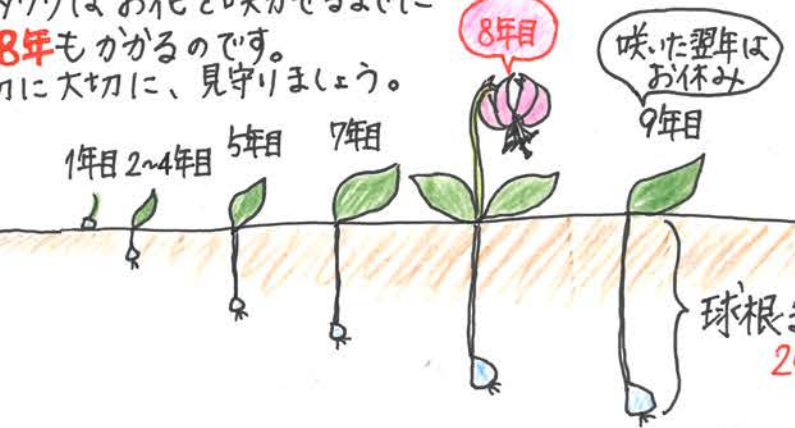
▼これはちょっと変わってる緑色!!

エンレイソウより10日くらい遅れて咲くシロバナエンレイソウ



カタクリのお花が咲くまで

カタクリはお花を咲かせるまでに8年もかかるのです。大切に大切に、見守りましょう。



江戸時代から明治初期まで「カタクリ粉分」はこのカタクリの根茎から作られていました。大変貴重で幕府への献上品や石炭養の薬として扱われていました。明治に入り、北海道への入植とともにジャガイモを原料として作られるようになりましたが、名称だけはそのまま残りました。

球根までは20cmもあるよ!

天ぷらにされずに済んだ

ふきのとうの、その後...

ふきのとうって雄花(株)と雌花(株)があるって知ってます?



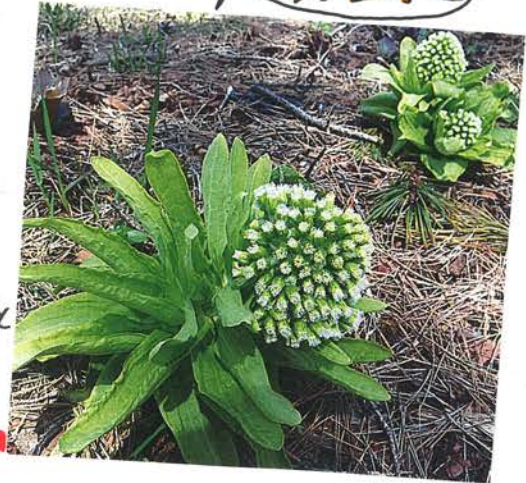
▼ 5月上旬



これは
雄花

雄花には花粉がある
のでクリーム色。
甘い香りもします。
雄花は花が終わると
枯れてしまいます。

こちらは
雌花



山から山菜採りの気配が
消える頃、ふきのとうは一気に成長します。
栄養たっぷりの土手などでは
1m以上の高さに育ちます。

このくらいの時季の
ふきのとうの茎を
ふきの代わりに炒めて
食べてもおいしいよ!



「雄花と雌花、どちらがおいしい?」

うーん... 味は大して変わらない
ような...

種になったフキトウ。
たんぽぽみたいに綿毛を飛ばして
仲間を増やします。



▲ 6月下旬。

ハチ番平では7月上旬まで
ふきのとうを見ることが出来ます。
日当たりと雪の下で成長速度に
ものすごい違いがあり、
こんな感じに、お化けふきのとうと
天ぷらに良さげなふきのとうが
並んでいることがあります。

